

令和8年度 履修証明プログラム
「化学反応創成人材育成プログラム」
受講申込書

年 月 日

北海道大学大学院教育推進機構 機構長 殿

フリガナ		写 真 出願3ヶ月以内に撮影された、正面 上半身無帽のもの。 全面貼付すること。 (3cm×3. 5cm)
氏 名		
英語表記	(Family, First, Middle)	
生年月日	年 月 日 生	
本籍／国籍		男 ・ 女
現住所	(〒 -) TEL	
電子メールアドレス		
所属(会社名等)		

履修を希望する授業科目名 ※履修を希望する授業科目名の左欄に○を付してください。		単位 相当数	授業形式	担当教員	備考
必修 科目	☐ MANABIYAエデュケーション	2	対面	MANABIYA担当教員	10単位相当
	☐ 化学反応創成学	2	オンデマンド	前田 理、LIST Benjamin 他13名	
	☐ 実践的計算化学	2	オンデマンド	武次 徹也 他3名	
	☐ 有機化学と計算化学の融合論	1	対面	美多 剛	
	☐ 0から始めるマテリアルズインフォマティクス	1	オンデマンド	高橋 啓介	
	☐ 分子理論化学の基礎	1	オンデマンド	小林 正人	
	☐ 生成AIと最先端ハードウェアの未来	1	オンデマンド	島田 敏宏	
選択 科目	☐ 超分子化学	1	オンデマンド	猪熊 泰英、伊藤 肇	1単位相当以上 選択すること
	☐ 分子のひもの物理学:ポリマー溶液とゲル	1	オンデマンド	中島 祐、龔 劍萍	
	☐ 実感する化学熱力学	1	オンデマンド	中島 祐	

MANABIYAエデュケーションの履修を希望する研究室 ※指導を希望するPI研究室の左欄に○を付してください。						
<u>※各研究室のMANABIYA研究テーマはこちらを参照ください。</u>						
		担当教員	テーマ		担当教員	テーマ
		前田 理	反応経路自動探索法を用いた反応機構の理論解析と予測		猪熊 泰英	小分子から中程度のサイズの分子合成と結晶学
		武次 徹也	励起状態の計算と不均一系触媒設計		長谷川 靖哉	高輝度かつ高耐性を有する発光性材料
		山本 哲也 【ルビンスタイングループ】	高分子材料やマクロ分子の理論計算		龔 劍萍 (グン・チェンピン)	高機能ソフトマテリアルの開発
		吉岡 真治	化学研究論文からの情報抽出		小川 美香子	生体利用を目指した蛍光色素開発
		ストウブ・ルーベン 【グーテンベルクグループ】	Advanced chemical data management and modeling (英語のみで提供されます)		津田 真寿美	新規材料による細胞制御と次世代新規診断法開発
		瀧川 一学	データ利活用技術の設計と改良		陳 旻究 (ジン・ミン)	結晶における分子ローターと個体機能の開発
		小松崎 民樹	化学反応の相空間幾何学とオンライン機械学習による 実験迅速化		シドロフ・パベル	Chemoinformatics tools for chemical data management, analysis and QSAR modeling (英語のみで提供されます)
		伊藤 肇	小分子と多様な元素を用いた新規反応開発		高 敏 (ガオ・ミン)	計算化学と触媒シミュレーション
		辻 信弥 【リストグループ】	有機触媒を用いた新規反応開発		江 居 竜 (ジアーレン・ジュロン)	計算化学を用いた化学反応性の探索